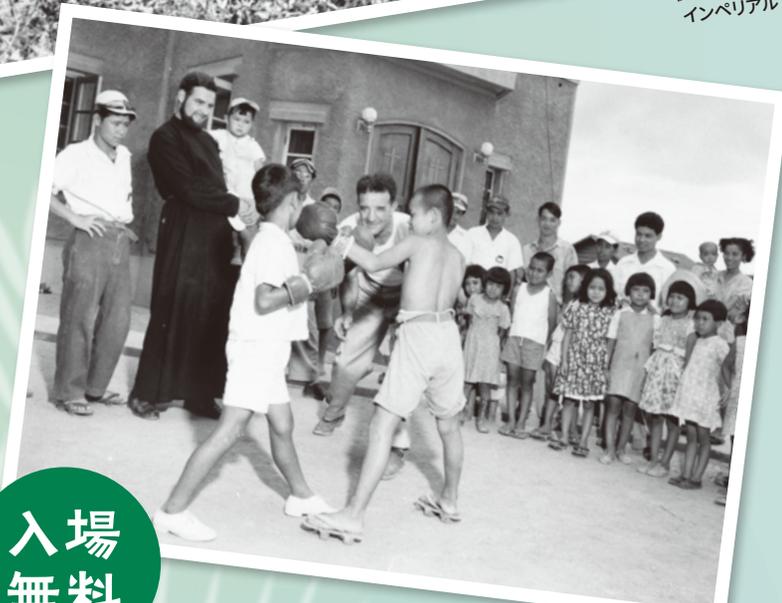


昭和館 巡回特別企画展



収容所に移動する人々 昭和20年(1945)
インペリアル・ウォー・ミュージアム提供



沖縄少年クラブ 昭和31年(1956)
米国立公文書館提供

くらしにみる 昭和の時代 沖縄展

入場
無料

2022年(令和4年)

11/30_水~12/10_土

午前10時~午後7時 12/5(月)は休館日

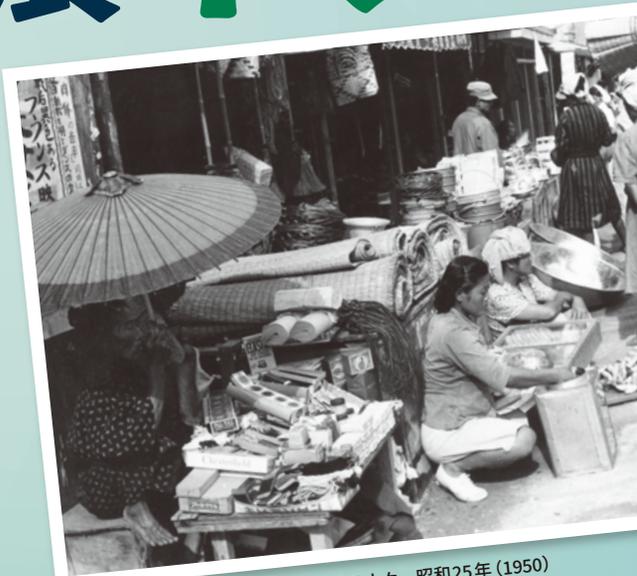
【会場】那覇市民ギャラリー 第1~3展示室

【所在地】那覇市久茂地1丁目1番1号 パレットくもじ6階

【後援】沖縄県 沖縄県教育委員会 那覇市 那覇市教育委員会 那覇市民ギャラリー

沖縄タイムス社 琉球新報社 毎日新聞那覇支局 読売新聞西部本社 産経新聞社那覇支局 時事通信社那覇支局 琉球放送
沖縄テレビ放送 NHK 沖縄放送局 琉球朝日放送 ラジオ沖縄 エフエム沖縄 沖縄ケーブルネットワーク

【協力】一般財団法人沖縄県遺族連合会および日本遺族会第5ブロック



店先で物売る人々 昭和25年(1950)
マッカーサー記念館提供



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1

TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575 <https://www.showakan.go.jp>

<https://twitter.com/showakankudan>

<https://www.facebook.com/showakankudan/>



くらしにみる 昭和の時代 沖縄展

昭和館は、戦中・戦後に国民が経験した労苦を後世に伝えるため、昭和10年代から昭和30年代までの歴史的資料を収集、保存、展示する施設です。

実物資料を活用した展覧会を全国各地で開催してほしいという要望を受けて、当館は平成13年(2001)から巡回特別企画展を実施してきました。令和4年度は、沖縄県那覇市において巡回特別企画展「くらしにみる昭和の時代 沖縄展」を開催する運びとなりました。

本展では昭和の人々のくらしぶりを、当時の沖縄の写真や実物資料を交えて紹介します。

内容構成

写真と資料でみる沖縄のくらし

- I. 戦時下のくらし
～日中戦争・太平洋戦争の時代～
- II. 戦後復興のあゆみ
～占領期から高度経済成長期の時代～

特設展示

ポスターのちから ～変化する役割と広がるデザイン～

東京・九段下の昭和館で令和3年(2021)7月に開催し、好評を得た特別企画展を一部リメイクして展示します。

広告・告知・宣伝を目的として制作されたポスターが昭和館には約3,500点所蔵されています。その制作意図はさまざまで、商業広告、国策宣伝、公共広告などあらゆる場面でポスターが登場し、国民生活に浸透していたことが垣間見られます。

この展示では、昭和館ポスターコレクションの中から、デザインの変遷に着目して作品を厳選し、昭和期におけるポスター制作と作り手であるデザイナーたちの活躍を紹介します。



「心も武装せよ」
昭和17年(1942)内閣情報局
デザイン：岸信男



「赤十字愛の献血運動」
昭和38年(1963)日本赤十字社
デザイン：高橋春人

※新型コロナウイルス感染予防のため、マスク着用のご来館をお願いします。 ※本展は新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、中止になる場合がございます。

▶ 那覇市民ギャラリー

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1丁目1番1号

アクセス

■ 車やバイクでお越しの方

那覇空港から車で約15分、バスで約20分、タクシーで約15分

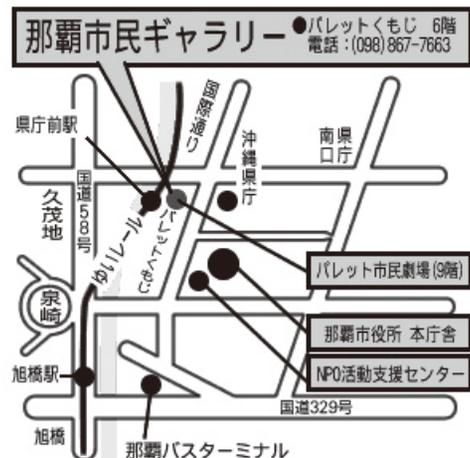
【駐車料金】最初の1時間……360円 30分毎……110円追加
パレットくもじ提携駐車場もご利用ください。
※ギャラリー入場によるご優待はございません。

■ 路線バスでお越しの方

各線バス停
【パレットくもじ前】【県庁北口(下り)】【県庁北口(上り)】【沖銀本店前】【琉銀本店前】下車

■ ゆいレールでお越しの方

那覇空港から約12分 沖縄都市モノレール「ゆいレール」【県庁前駅】下車徒歩1分(2F連絡口より直結)



お問い合わせ先：昭和館学芸部

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 <https://www.showakan.go.jp>